

2 0 1 0

総務常任委員会記録

第2回定例会

平成22年9月1日（水曜日） 開議
平成22年9月1日（水曜日） 散会

西いぶり広域連合議会

総務常任委員会審査事項

平成 2 2 年 9 月 1 日（水）

室蘭市議会 議会第 1 会議室

開議 午前 1 0 時 4 2 分

散会 午後 1 時 4 3 分

日程	番 号	件 名	結 果
1		書類審査 ※ 閲覧会場：室蘭市議会 議会第 3 会議室	
2	議案第 1 号	平成 2 2 年度西いぶり広域連合一般会計補正予算 (第 1 号)	可 決
3	認定第 1 号	平成 2 1 年度西いぶり広域連合一般会計歳入歳出決算	認 定

○出席委員（14名）

委員長 大 友 勇

副委員長 横 山 実

委 員 五十嵐 篤 雄 松 井 保 明 長 内 伸 一
半 澤 剛 夫 木 村 辰 二 舘 市 弘 太
小 泉 勇 一 永 沢 眞 人 大 村 喬 俊
柏 木 隆 寿 佐 藤 潤 大 光 巖

○出席理事者

＜西いぶり広域連合事務局＞

寺	島	事務管理者
中	畑	事務局長
谷	沢	総務課長
柴	原	総務課主幹
宮	澤	共同電算室主幹

＜西いぶり広域連合監査事務局＞

豊	島	代表監査委員
米	野	監査事務局長
安	田	監査事務局主幹

総 務 常 任 委 員 会 記 録

平成 22 年 9 月 1 日（水曜日）

午前 10 時 42 分 開議

○大友委員長 ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

本委員会に付託されました案件は、議案 1 件、認定 1 件の以上 2 件であります。

審査順序につきましては、お手元に配付の審査事項のとおりとすることに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○大友委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

それでは、日程 1、書類審査を行います。

なお、書類審査につきましては、この後直ちに行いたいと思いますが、正午をめぐりに終了いたしたいと思っております。各委員の御協力をお願いいたします。

また、審査の関係書類につきましては、4 階の議会第 3 会議室に用意しておりますので、適宜ごらんいただきたいと思います。

なお、再開は午後 1 時といたします。

それでは、暫時休憩いたします。

午前 10 時 43 分 休憩

（午前 10 時 44 分～午前 11 時 43 分 書類審査）

午後 1 時 00 分 再開

○大友委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで委員長より一言申し上げます。委員が質疑される場合におかれましては、御起立の上、発言願います。また、効率的な委員会審査の運営のため、御自身の質疑終了後における再度の質疑は御遠慮いただきたいと思います。御協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、議案の内容につきましては、先ほどの本会議で説明がなされておりますので、これを省略し、直ちに議案の審査を行います。

それでは、日程 2、議案第 1 号平成 22 年度西いぶり広域連合一般会計補正予算（第 1 号）を議題といたします。

質疑を行います。質疑はありますか。

○柏木委員 それでは、私のほうからは、議案第 1 号平成 22 年度西いぶり広域連合一般会計補正予算（第 1 号）についてお伺いしますが、まず初めに今回の歳出の第 3 款情報処

理費の中の共同電算システム運用経費中の委託料1,480万5,000円及び備品購入費289万円についてでありますけれども、この予算の内訳の中で個人住民税システム改修及び国民健康保険システム改修並びにこの個人住民税システム改修に伴うデータ保存装置の購入ということですが、これらの部分について入札等の調達方法についてどのようなになっているのか、形態についてお伺いしたいと思います。

○宮澤共同電算室主幹 お答えいたします。

今回の契約につきましては、現在導入しております総合行政システムの一部改修でありますことから、納入業者でありますRKKコンピューターサービスとの随意契約を予定しておりますところでございます。また、データ保存装置につきましても、これまでに導入した装置との一体的なメンテナンスを図ることが効果的なことから、同様にRKKコンピューターサービスとの随意契約を予定しているものでございます。

以上です。

○柏木委員 わかりました。

そこで、このデータ保存装置購入ということですが、現存のデータ保存装置には今回のデータが入る余力というものが全くないために購入しなければならないのか、また新たに購入しなければならないほかの理由があったのか、その点についてお伺いしたいと思います。

○宮澤共同電算室主幹 現在入っております既存システムのデータ保存の容量といたしましては、今回のシステムの改修に伴って国から申告のイメージデータが来るのですけれども、そのイメージデータの保存に対応する余力がないということで今回新しく保存装置の購入を行うものでございます。

○柏木委員 そこで、先ほどの答弁の中で今回の契約については随意契約というお話でありました。そこで、通常考えると、1社の随意契約という場合には相手先からの見積もりについて認めていくというような形で、契約金額も通常高くなるような懸念がありますけれども、その点については広域連合としてどのようにお考えなのでしょうか。

○宮澤共同電算室主幹 お答えいたします。

一社随意契約ができる条件といたしましては、金額によるものと業務の内容によるものとでございますけれども、今回のシステムの改修につきましては既にあるシステムの一部改修という特殊性がございますことから、現システムの開発会社との一社随意契約を行うことが価格面から見ても有利であるというふうに考えてございます。

○柏木委員 工事でいえば、継続工事ということで同じ業者さんというお話でございますけれども、たしか昔はそういうような流れでいったほうが安くなるよというようなお話でしたけれども、今の世の中、経済状況も非常に変わってきて何が正しいかという部分で、どれが安いという部分ではなかなか判断しづらいという部分も昨今の世の中の動きとしては非常に出てきているという部分もありますので、随意契約ということですが、やはりそれが正しいかどうかを比較するという、広域連合側でもそういう基準というか、

そういうものを蓄積されていないと、それが本当に安くできたのか、逆に言うと高くできたのかという部分は判断できないと思うのです。それがひいては広域連合の中の６市町の各市町のほうの負担になってくるわけですので、そういう部分もしっかり検討されて臨んでいただきたいなというふうに思います。

ということで私の質問を終わります。

○大友委員長　ほかございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○大友委員長　なければ、以上で質疑を終了いたします。

それでは、お諮りいたします。ただいま議題となっております案件は、原案のとおり可決すべきものと決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○大友委員長　異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

ここで理事者の交代を行います。監査委員事務局は入室お願いいたします。

（理事者交代）

○大友委員長　次に、日程３、認定第１号平成２１年度西いぶり広域連合一般会計歳入歳出決算を議題といたします。

ここでごみ量の推移などについて理事者の説明を求めます。

○谷沢総務課長　それでは、本日追加で提出しております参考資料という、こういう資料を事前に提出させていただいておりますが、こちらにつきまして御説明をしたいと存じます。

参考資料でございますが、まず上段の棒グラフ、こちらは年度別の構成市町のごみ処理量でございます。平成１５年度は６万４、１６３トン、平成１６年度以降は社会情勢の変化、各市町におけるごみ減量政策、それから住民のごみ減量意識の高まり、また人口減などによりごみ量も減となっております。平成２０年度では５万１、５１３トン、平成２１年度は５万１、１６９トンとなっております。なお、平成２２年度の予算では前年度比で増となっておりますが、これは平成２１年度のごみ量の推移の中で事業系のごみ排出量が多い傾向であったことから、その増加を見込んだものでございます。

なお、中段の表、これは年度別、市町別のごみ処理量でございます。計欄の下に米印で計画ごみ量としておりますが、これは各町における平成１５年当時の計画量の合計でありまして、この数字の推移からも実績ごみ量との乖離というものが大きいものとなっております。

その下の表でございますが、搬出先の表で、これは２１年度までは家庭系のごみが事業系ごみを若干上回っております。

一番下の表につきましては、中段の市町別の推移をグラフ化したものでございます。

以上でございます。

○大友委員長　今の追加資料の説明について何か御質問ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○大友委員長　なければ、次に進みます。

それでは、一般会計の歳入歳出決算についての質疑を受けたいと思います。ございませんでしょうか。

○柏木委員　それでは、認定第1号平成21年度西いぶり広域連合一般会計歳入歳出決算についてお伺いしますけれども、まず歳入のほうの第1款の分担金及び負担金並びに第4款の財産収入についてあわせてお伺いします。この歳入についてですけれども、本年第1回の定例会時に提示された平成22年度予算案の提示の際に平成21年度の決算見込額というものも出されて、あわせて載せてあったかと思うのですけれども、その決算見込額と今回決算額とを比較すると、補正予算がなかったわけですけれども、分担金及び負担金では約1,913万9,000円の歳入減、また財産収入では809万9,000円の歳入増となっておりますけれども、これが言えば予算案提示の際と今回の決算という部分では、3月の末締めということで考えますと、年度末まで非常に短い期間だったのではないかなと思うのですが、なぜこのように金額が乖離しているのか、まずその点についてお伺いいたします。

○谷沢総務課長　予算編成における決算見込額につきましては、9月末見込みというものをベースとしておりまして、その後執行状況によりまして決算額との相違が出てまいりました。

まず、分担金及び負担金の増減の理由ということでございますが、歳入面と歳出面がございまして、歳入面では財産収入で決算見込み時よりも810万円の増となりましたこと、それから歳出面では情報処理費で決算見込み時よりも740万円の減となったため、各市町からの負担金の減となったものであります。

次に、財産収入では、アルミ、スチール缶やペットボトルなどの資源回収物売払収入がありますが、市況の動向に左右されることから、3カ月ごとの入札ということで行っているのですけれども、アルミ缶、ペットボトルの単価の上昇が決算見込み時より大きな収入増となったものでございます。

以上でございます。

○柏木委員　市況の変化等という財産収入についてはそういうお話でしたけれども、先ほども見込額が9月末の見込みというお話でございました。今、情報処理技術も発達しておりますし、パソコン等でも集計も容易にできるのではないかなというふうに考えています。

また、監査のほうでも例月監査なんか行われていて、そういう部分での出納なんかもしっかり毎月やられているということを考えますと、そういう部分では各市町に対する分担金、負担金の請求なんかそういう部分でも行われているのではないかなというふうに考えております。そうすると、この9月末見込みという部分の資料の出し方というのも今後ちょっと考えていただいたほうがいいのではないかなと。できるだけ直近ということではないかと、私どもというよりも広域連合自体、ひいては各6市町への分担金請求だとか、

そういう部分に反映されてくるものではないかなと。どこの自治体も非常に厳しい財政状況の中で出納管理されているかと思しますので、そういう部分もやっぱり新しい情報をどんどん発していくという部分では考えていただいたほうがいいのではないかなというふうに思います。

あわせてといいますか、歳出の第3款の情報処理費で同じような形で先ほどと同じような状況になっているのですが、当初の予算案提示、平成22年度の予算案提示の見込みのところと今回の決算では738万9,000円歳出減となっておりますけれども、その部分についてはどのようになっているのでしょうか。

○谷沢総務課長 情報処理費の減につきましては、消耗品の連帳プリンター用トナーですとかドラムの使用料、それから電気使用料に係る経費の圧縮に努めたことが要因となっております。

以上でございます。

○中畑事務局長 柏木委員の予算編成時期の9月末の決算見込み時の押さえということでございますけれども、私どものほうはいずれにせよ各市町からの負担金で運営しているという関係がございます。そういった中で各市町におきましても予算編成の時期というのが10月末～11月以降にということでございますので、そこに合わせた我々の作業ということでもございますので、その直近の見込みということになりますと、9月末ということでデータ的には押さえているというところでございまして、この辺のところが大きく変わらない限りは以降もやはりこのような形でということでございます。

一方、それ以降の執行につきましては、当然予算編成した中で突発的なことがない限りはその予算の方針に沿って執行しているわけですが、一方歳入面で見ますと、先ほど言いましたように、資源物につきましては3カ月ごとの入札ということでございまして、この辺で歳入面での変動というのはあるということでございますので、その辺で決算額とのずれというのは、これはいい意味でのずれだと私は理解していますけれども、そういうことになってくるのかなというふうに思いますので、御理解いただきたいと思います。

○柏木委員 今の御説明のとおり、当然9月末で見込まないと各自治体で次年度の予算が組めないという、そういう部分は十分理解しております。そういう部分では、各自治体で予算を組むという部分ではそのとおりだと私も思いますけれども、この広域連合の議会の中での比較という部分に関しましてはできるだけ直近にしていきたいと思いますという、そういう思いで質問したわけございまして、御理解いただきたいなと思います。

次に、歳出の第4款のごみ処理費についての関係でお伺いしますけれども、私去年の第1回定例会でも質問したかと思うのですが、昨年運営会社から経営が非常に苦しいということで計画ごみ処理量の単価見直しという部分と売電収入の還元基準値の見直しが要望されたという経緯がございますけれども、そこで平成21年度における運営会社の決算状況についてはどのようになっているのかお伺いしたいと思います。

○谷沢総務課長 運営会社であります西胆振環境株式会社からの平成21年度事業報告に

よりますと、ごみ処理委託費等の売上高が6億2,440万4,000円、設備保守管理費等の売上原価が7億8,758万8,000円、それと販売費及び一般管理費を加えたものを差し引きますと、営業損失が2億446万5,000円となっており、これに見合う形で西胆振環境株式会社の株主会社からの支援を受けまして、21年度決算といたしましては当期純利益を確保したとの報告となっております。

以上でございます。

○**柏木委員** 今の答弁の中にあつたとおり、本当に運営会社さんの経営非常に厳しくて親会社からの支援を受けていると、株主会社からの支援を受けているという状況があらわになったわけでございます。これも昨年ですか、空知のごみ処理の広域連合でやられているというか、ところの運営会社が撤退というようなお話がありまして、全国的にもそういうような状況があるというふうに聞いておりましたけれども、そこで非常に厳しい運営会社の経営状況ではございますけれども、協定によって株主さんのほうから援助するというようなお話でございます。そういう部分で今、株主会社が非常に好調な経営状況だというふうにもお聞きしておりますから、そういう部分で支援も容易に受けられるのかなと思うのですが、今後の状況を考えるときに、先ほど御説明ありましたとおり、ごみ量の推移を見てみますと、平成20年度が5万1,513トン、また21年度が5万1,170トンとなっておりまして、また平成22年度も予想ごみ量で5万1,407トンというふうに予想されております。大体ごみ量が5万1,000トン台で安定してきたかなというふうにも考えられるのですけれども、そこで今後のごみ量を広域連合のほうではどのように見通されているのか、その点お伺いしたいと思います。

○**柴原総務課主幹** 今後のごみ量の見通しについてでございますが、これまでのごみ量減少の要因といたしまして人口減やリサイクルの施策、資源物の有効利用意識の向上によるものでありまして、排出抑制によるものと考えておりまして、今後も現在の5万1,000トン台をベースとして人口の動向により推移していくものと考えております。

以上でございます。

○**柏木委員** 5万1,000トン台をベースとして、これは人口が減れば多分減るのでしょうけれども、そういう部分では今後計画ごみ量について当初設定、先ほどもありましたけれども、6万3,400トンということで約20%減で推移してきているというふうに思われます。先ほども述べましたとおり、ここ3年ぐらいは大体安定してきているのかなというふうに思いますけれども、そういう中で検討中となっておりますごみ処理費の単価見直しについての今後の考え方はどのようになっているのかお伺いしたいなと思います。

○**柴原総務課主幹** お答えいたします。

ごみ処理費の単価の見直しの今後の考え方でございますが、現在の計画ごみ処理量6万3,400トンは、平成10年度に策定しました西胆振地域廃棄物広域処理基本構想におきます平成21年度を計画目標年次としたごみ処理量でございます。基本構想から11年、稼働してから7年が経過しておりまして、平成21年度のごみ処理量5万1,170トン

と当初の計画ごみ処理量は約20%の乖離が生じておりまして、見直しにつきましては急務でありまして、計画ごみ量及び委託単価につきまして今後各市町と相談しながら進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○**柏木委員** 今後ということございましてけれども、そこでこの計画ごみ量、また委託単価については各市町で相談しながらということでございますけれども、協議の方向性として、まず委託単価を上げるということを前提で協議するのか、その点をちょっと確認したいなと思います。また、今協議しているということですが、めどとしていつごろまでをめどに結論を出すのか、その点についても伺いたいと思います。

○**柴原総務課主幹** 協議の方向性でございますが、先ほどもお答えしましたとおり、実績ごみ量との大きな乖離は特に変動費にかかわる影響は大きいことから、これを踏まえ、計画ごみ量の見直しと、それに見合う単価のあり方を検討してまいりたいと考えてございます。また、見直しのめどについてですけれども、次年度以降の予算に反映できるよう各市町と協議をしながら、できるだけ早く結論を出してまいりたいと存じます。

以上でございます。

○**柏木委員** 次年度以降ということですから、早くやれば来年度以降ということですが、もう9月ですので、来年度予算作成にかかるという部分では、近々に来年度であれば決めなければならないのかなというふうにも私も考えますが、そういう部分ではちょっと時間はないですが、推移見守っていきなさいというふうに思います。

そこで、次に第6款の諸収入についてもお伺いしたいと思うのですが、先ほども御説明あったかと思いますが、資源回収物の売り払いの現状ですが、過去3カ年の処理量及び売り払い単価の現状についてはどのようになっているのでしょうか、お伺いします。

○**柴原総務課主幹** 初めに、過去3年間の処理量で申し上げたいと思います。まず、平成19年度はスチール缶270トン、アルミ缶260トン、ペットボトル420トン、平成20年度はスチール缶245トン、アルミ缶240トン、ペットボトル415トン、平成21年度はスチール缶250トン、アルミ缶265トン、ペットボトル400トンとなっております。

続きまして、売り払い単価でございます。なお、単価はトン当たりで平均で申し上げたいと思います。平成19年度はスチール缶7,500円、アルミ缶9万1,000円、ペットボトル6万4,000円、平成20年度はスチール缶4万1,500円、アルミ缶15万8,500円、ペットボトル5万2,000円、平成21年度はスチール缶2万2,500円、アルミ缶9万3,000円、ペットボトル2万8,500円となっております。

以上でございます。

○**柏木委員** そこで、先ほども資料を閲覧させていただいたときに聞いたのですが、

スチール缶とかアルミ缶については入札だということでした。ただ、ペットボトルについては指定法人と自主ルートというような形での売り払い割合になっているということで、現状50対50というようなことでやっているということですので、これもやはり自主財源をふやすという、広域連合自体に、そういう部分を自主財源をより多く確保するという観点からいえば、売り払い単価の高い自主ルートのほうに売却数量をふやすべきではないかなというふうに考えるのですけれども、その辺の御見解をお伺いしたいなと思います。

○柴原総務課主幹 御質問のペットボトル引き渡しについてでございますけれども、構成市町の財政状況も厳しい中、できるだけ自主財源を確保して構成市町の負担軽減を図るため、年間処理量の約50%を独自ルートで売却してございますが、一方で国からはできるだけ指定法人に引き渡すことが求められておりますことから、現在の割合にしているところでございますので、御理解を賜りたいと思います。

以上でございます。

○柏木委員 国からの要請というか、そういう部分があるというお話でございますけれども、聞くとところによると、自治体というか、場所によっては自主ルートのほうに多くという部分もあるというお話も聞いておりますので、先ほども申しましたけれども、自主財源の確保という部分もやはり一番広域連合として運営していく中では大事ではないかなというふうにも考えますので、今後ちょっと検討していただければなというふうに思います。

続きまして、歳出、第5款の土木費の部分でございますけれども、余熱利用施設等運営費について伺いたいと思いますけれども、これはリサイクルプラザを含む余熱利用施設を運営している指定管理者さんに業務委託してございますけれども、まず指定管理者さんの経営状況についてはどのようになっているのでしょうか。

○柴原総務課主幹 指定管理者からの事業報告書によりますと、リサイクルプラザ及びげんき館ペトトルの運営につきましては、両施設をあわせた運営として委託しておりますけれども、指定管理者の経営状況といたしまして、指定管理者の収入といたしましてはリサイクルプラザでは広域連合からの委託料、げんき館ペトトルでは広域連合からの委託料と利用料金収入等がございます。また、支出として、それぞれ管理経費となっております、両施設あわせて収支はプラスとなっております。

以上でございます。

○柏木委員 収支プラスということでおおむね良好な運営されているというお話でございますけれども、そこで温水プール並びに体育館、住民に開放されているということですので、過去3年間の市町別の利用状況及び指定管理者さんの自主事業として利用者増に向けた取り組みと、またその効果についてはどのようにあらわれているのかお伺いしたいなと思います。

○柴原総務課主幹 げんき館ペトトルの地域別利用者の過去3年間の状況といたしましては、平成19年度は3万7,188人の利用があり、内訳といたしまして室蘭市で2万6,

088人、伊達市で8,405人、洞爺湖町で84人、豊浦町で16人、壮瞥町で19人、その他2,576人、平成20年度は3万3,381人の利用がありまして、室蘭市で2万2,982人、伊達市で7,657人、洞爺湖町で112人、豊浦町で13人、壮瞥町で5人、その他といたしまして2,612人、平成21年度は3万4,333人の利用がありまして、室蘭市で2万2,625人、伊達市で8,065人、洞爺湖町で11人、豊浦町で1人、壮瞥町で6人、その他3,625人となっております。過去3年間の地域別利用者の平均割合は、室蘭市が68%で最も多く、次に伊達市が23%となっておりまして、広域外からも8%の利用があります。

また、自主事業の取り組みといたしましては、げんき館ペトトルにあっては開館時間前の施設を利用したアクアエクササイズや冬期間のキッズパーク、また体育館を利用した小学生の高学年を対象にしました体育教室などを実施しております。リサイクルプラザにおきましては、小学生や親子を対象にしました各種講座を開催するなど、民間発想による各種行事の実施によりまして参加者に大変喜ばれておりまして、取り組みの効果といたしましてはげんき館ペトトルでは21年度で約3万4,000人と前年度より950人、リサイクルプラザでは各種講座の受講者数が約2,300人と前年度より470人増加しております。

以上でございます。

○柏木委員 細かくありがとうございました。

そこで、私がなぜこういうことを聞くかと申しますと、余熱利用施設の部分では682万1,000円の利用者収入というか、料金収入があるのですよね。それで、今伊達市さんのほうで歴史の杜に体育館建設中、また将来的にはプールもできるということでございまして、それが利用開始されたという部分では、先ほどもお話ありましたけれども、室蘭市は68%、伊達市さんで23%の方が利用を現在されているというようなお話でありますけれども、伊達市さんに立派なそういう施設ができると、果たして伊達市の方々が、伊達市だけでなく伊達市以西の方々もいろいろ利用されていますけれども、そういう方々が利用されるのかなと、利用されなくなったら料金収入減りますよと、そうなるとうやほりまた自治体の分担金、負担金がふえていくわけです、運営するためには。そういう部分を非常に懸念しているのですけれども、そういう部分で伊達市のそういう施設が利用開始した時点では本施設への利用者数への影響は広域連合さんではどのように検討されているのでしょうか。

○柴原総務課主幹 地域別利用状況といたしましては、伊達市内の各町別の詳細な分析は行っておりませんが、過去3年間の平均で伊達市からは約23%の利用者がおりますことから、多少の影響はあるものと考えております。

以上でございます。

○柏木委員 それが多少の影響かどうかはわからないのですけれども、例えば伊達市さんからの影響だけではなくて、もしかしたら室蘭市民もそちらのほうに行かれるというよう

な形も、通り越して、あるかもしれないのです。そういうふうになったときに、本当にせっかくこの余熱を利用した施設ということでありますけれども、そういう部分では指定管理者さんへの運営費の圧縮等も将来もしかしたら考えなければならないのかなと危惧するものでありまして、そうなると運営、指定管理者がこのまま次に更新の時期に応募する業者さんいるのかなという部分も私ちょっと不安に思っているのです。

そこで、そういう部分ではこれ定住自立圏と重なる部分もありますけれども、今後各市町全体でリサイクルプラザもあるし、ミニですけれども、体育館もあるし、プールもあるということでは例えば学校の総合学習の中で環境学習をリサイクルプラザで行ったり、また体育館でプール学習を行ったりというような組み合わせ、マッチングしたような形で、極端な話、遠い例えば豊浦の学校だとか、洞爺湖町の学校からバスで来るということになると、逆に言うと1日がかかりなわけなのです。それを帰ってまた授業ということになると、非常にロスが起きるわけです。そういう部分では、環境学習も含めたこういう施設で1日勉強していただくとか、そういうような部分も含めてメニューを考えてこの施設の利用促進とか、そういう部分も考えていかれたらいいのではないかなというふうに思うのですけれども、その辺の御見解をお伺いしたいと思います。

○谷沢総務課長 定住自立圏におきます想定事業では、広域学校教育の推進の取り組みといたしまして、圏域の資源を活用した総合学習の推進により、広域的な学校教育活動の推進を図るとありまして、圏域にある各施設の活用は想定されておるところでございますが、リサイクルプラザやげんき館ペトトルにつきましても利用が図られていくものと考えておりますし、広域連合といたしましても現在の室蘭市以外の学校においても環境学習などで利用もしていただいておりますけれども、なお中心市である室蘭市に今後も働きかけていきたいと考えてございます。

以上でございます。

○柏木委員 やはり利用者が少なくなると、結局はせっかくいいものがあっても利用されなくて閉館という部分は全国津々浦々そういう施設はいっぱいあるというふうにも聞いていますから、そういう部分で利用者がいなければ施設運営もしていけないということでやっぱり努力していただきたいなというふうに思います。

あと、この施設の利用時間についてお伺いしたいのですけれども、普通他の公共施設では大体閉館時間9時と、21時というふうになっているところがほとんどだと思います。ただ、このペトトルについては現在20時ということでありまして。そういうふうにと考えると、特に平日等なんかには仕事終わってからの方だとか、そういう部分の利用となると利用時間が短くてなかなか利用できないかなというふうなことも考えられます。今後この利用者のニーズをどのようにとらえて閉館時間も含めて検討していくのか、その点についてお伺いしたいと思います。

○柴原総務課主幹 げんき館ペトトルの開館時間延長に関します利用者のニーズにつきましては、施設のオープン当初は時間延長に関します要望もあったようでございますけれど

も、その後要望は特にありませんで、現在定期的に行っております指定管理者との打ち合わせの中でも住民のニーズとしては特に聞いておりません。今後とも指定管理者によりまずニーズ把握に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○**柏木委員** 今お話で当初は時間延長の要望もあったということで、結局はその要望を聞かなかったから、利用者の方あきらめたのかなというふうにも私は思うのですが、やはり社会状況も変化してきていますから、夕方6時から9時ぐらいまでだったら使えるのだよなというような方もいらっしゃると思いますので、日中だけではなくて、そういう部分では今後のそういう利用者増という考え方も含めて、できれば指定管理者の方とも、いろいろ管理運営費の部分もあるかと思っています。そういう部分も影響出てくるかと思えますから、いろいろな部分で検討させていただきたいなというふうにお願いしまして、私の質問を終わらせていただきます。

○**小泉委員** 先ほどの書類審査で備品購入費が最終処分場運営費とリサイクルプラザ運営費にあったと思いますけれども、この財産の調書からいきますと1点ふえているのですけれども、このあたりはどのようにになっているのかお尋ねをいたしたいと思います。

○**中畑事務局長** 財産調書にございます物品の1点ということでございますけれども、これは共同電算に係る国民投票システムというのを21年度整備いたしましたので、それは備品扱いということにしてございまして、その1件増ということでございます。

○**小泉委員** そうしますと、この目次にもありますし、私の記憶はちょっとメモしてなかったものですから定かでないのですけれども、たしか1点は最終処分場の刈り払い機か何かだというふうに記憶しています。当然のこととしてそういうものは財産になるのでないかなと思うのですけれども、そのあたりについてお尋ねしたいと思います。

○**中畑事務局長** 私の説明ちょっと足りなかったところございます。財産調書上に載せる物品は、1件50万以上の物品ということでございますので、その1の増は今申し述べました共同電算に係るシステム部分ということでございます。

○**小泉委員** そうしますと、50万以下のものはどのように表示されて、記録としてどのように残るのか教えていただきたいと思います。

○**中畑事務局長** いわゆる備品購入費というもので買った場合は、すべて備品購入台帳というので記載をございまして、購入がいつで、購入価格が幾らというような台帳で管理をするということになってございます。

○**大友委員長** ほかがございませんでしょうか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○**大友委員長** 以上で質疑を終了いたします。

それでは、お諮りいたします。ただいま議題となっております案件は、認定すべきものと決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○大友委員長 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

以上で本委員会に付託を受けました議案の審査は全部終了いたしました。

なお、この場合委員長報告の文案につきましては正副委員長に一任願いたいと思いますが、文案の内容につきましてはさきに御確認いただいておりますとおり質疑の内容は省略し、採決の結果のみ報告することといたしますので、よろしく願いたいと思います。よろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○大友委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

それでは、これをもって総務常任委員会を散会いたします。

午後 １時４３分 散会

西いぶり広域連合議会委員会条例第 26 条第 1 項の規定により署名する。

総務常任委員会 委員長